

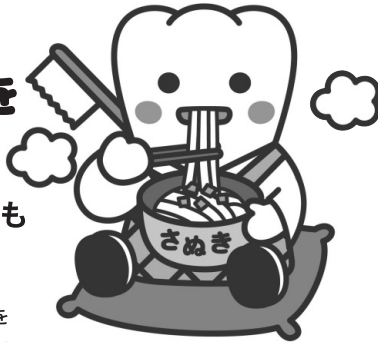
11月8日はいい歯の日

はちまるにいまる

8020運動を 実践しよう

8020運動とは「80歳になっても
自分の歯を20本以上保とう」
という運動です。

少なくとも20本以上の歯があれば、年齢を
問わず食物を噛みくだくことができ、おいしく
食べられます。子どものころからの正しい
デンタルケアと青年期の予防が大切です。



日本歯科医師会PRキャラクター
香川県「よ坊さん」

県民の皆様のかかりつけ歯科医として、 お口の健康管理に努めています



香川県歯科医師会会長
豊嶋 健治

香川県歯科医師会では、歯周病と糖尿病の関係について、いち早く専門の講師を招いて研修するなど、常に最新の医療情報を会員間で共有し、様々な研鑽を積んでいます。更に健診やお口の健康講座など地域でのフィールドワークを行い、地域に根ざした活動を続けています。

我々は、県民の皆様のかかりつけ歯科医として、お口の健康、ひいては身体の健康に少しでも寄与できることを願ってやみません。



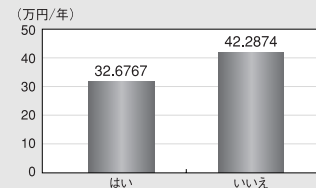
うどんは噛まずにのむ?

でもちょっと待って下さい。香川県の一人あたり年間医療費は全国6位(2009年協会けんぽ調査)の高水準で、特に糖尿病の受療率は全国1位(2008年厚労省調査)です。このことは、うどんを噛まずにのむこととも関係しているのではないかとされています。

香川県歯科医師会の調査では、何でも噛んで食べられる人はそうでない人に比べて医科の医療費が明らかに少ないという結果が出ています(グラフ参照)。つまりなんでも噛んで食べられる健康なお口の人ほど身体も健康...でも、考えてみたら当たり前のことかもしれませんね。近年は糖尿病と歯周病の関係にも注目が集まっています。いつまでも丈夫な歯で健康な生活を送れるよう、年に2~3回はお口の中の定期的なチェックをされることをおすすめします。

11月8日は「いい歯の日」。これをきっかけに、お口の中の健康を見直してみませんか？

「何でもかんで食べられる」別医科診療費



◎何でもかんで食べられる人は、そうでない人に比べ、医科の医療費が1年間で約10万円低くなっています。
(平成22年度香川県「歯の健康と医療費に関する実態調査より」)

歯科医療は「生きる力を支える」生活の医療です。

日本歯科医師会 <http://www.jda.or.jp/> 香川県歯科医師会 <http://www.kashi.or.jp/>

